



## 1日も早い復興を願って

9月28日(日)

土岐さんま祭りがゆのみの里広場で開催されました。東北地方の復興支援のため始められた祭りも今年で4回目。来場者に焼きたてのサンマを無料で振る舞い、義援金を募りました。

今回は東北地方の郷土料理「はっと汁」の味を競う「はっとフェスティバルin土岐」なども同時開催され、会場はサンマの煙とともに非常に多くの来場者の熱気に包まれました。



## キラリと光る白い歯

10月2日(木)

「歯の優良児童審査会」が保健センターで行われ、市内の各小学校から選ばれた6年生の男女17人が参加しました。歯科医師が歯の状態や歯並びのほか、歯のかみ合わせなどを審査した結果、最優秀賞には、今川結惟さん(泉西小)と荒木瞭太さん(泉小)が選ばれました。



## いざ、出陣

10月5日(日)

高山城戦国合戦まつりが高山公園などで開催されました。この祭りは、高山の歴史を若い世代に伝え、郷土の歴史と文化を生かしたまちづくりを推進することを目的としており、今年で3回目の開催となりました。あいにくの天気でしたが、高山城戦国武将隊の踊りや犬山甲冑制作同好会による「戦国ファッションショー」などが行われ、多くの観客でにぎわいました。



## お米づくりって大変

10月8日(水)

鶴里小学校の5年生10人が、同校敷地内で脱穀体験をしました。児童らは5月と9月に、近くの田んぼで田植えと稲刈りを体験しており、今回、自分たちが大事に育てた稲を「足踏み脱穀機」や「千歯抜き」といった昔の農具を用いて脱穀しました。児童らは、一連の体験を通じて収穫の喜びを味わうとともに、昔の人の知恵や米づくりの大変さを学びました。

## 土岐・ファエンツァ姉妹都市提携35周年

9月27日(土)～10月6日(月)

イタリアのファエンツァ市と土岐市は1979年10月23日に姉妹都市提携を結び、以来、産業・文化・教育などで交流を続けてきました。今年で提携35周年になることを記念して、ファエンツァ市の陶芸家3人を含む5人の代表団の方々を土岐市にお迎えしました。



歓迎レセプションの様子



Voice  
カルラ・ベネデッティ  
ファエンツァ市姉妹都市交流委員会 副会長

ファエンツァ市は、陶磁器分野で長い伝統のある土岐市と初めて姉妹都市提携を結び、交流を深めてまいりました。日本とイタリアの友好のためにも、これからも土岐市とファエンツァ市の交流と友情関係が続くことを願っています。



## ファエンツァ市陶芸作家展

35周年記念事業の一環としてセラテック土岐で行われた「ファエンツァ市陶芸作家展」では、制作風景を間近で見たり、作品に対する思いを聴いたりするなど、多くの方が陶芸家の皆さんと交流しました。

